

2019年から2022年10月までに当院で膵癌と診断された患者さんへ 研究『当院における膵癌に対するEUS-FNA/Bの現状』実施について

1. 本研究の意義及び目的

膵癌は予後不良であり多数を占める手術困難例においては超音波内視鏡下穿刺吸引・生検法（EUS-FNA・FNB）での検体採取が重要となり、その精度の高さと安全性が必要となる。さらに近年ではマイクロサテライト不安定性（MSI）や遺伝子パネル検査によって従来使用できなかったが新薬の適応が拡がっており検体採取の重要性が増しています。EUS-FNA/Bで膵癌と診断された症例の臨症病理学的特徴、経過、治療をした場合の成績、予後などを後方視的に調査することで、EUS-FNA/Bによる適切な検体採取、精度や安全性の向上を目指します。

2. 本研究の方法

2019年から2022年10月までに当院で膵癌と診断された患者さんの臨床データを過去の電子カルテから情報を集め、統計解析します。集める臨床データのうち個人が特定できる情報については番号を付け、匿名化します。

3. 資料などの保存及び使用方法について

集積した資料は施錠可能な保管庫で保存し、本研究以外で使用することはありません。

4. 研究全体の期間と予定症例数

研究機関は当院倫理委員会で承認後2027年10月末までです。

5. 研究結果の公表について

本研究の成果は国内外の学会で発表し、論文作成をする予定です。

6. 研究の開示について

この研究についてさらに詳しい内容を知りたい方は、申し出ていただくことにより、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性の確保に支障がない範囲で研究計画・方法・結果についての資料を見ることができます。

7. 個人情報に関して

個人のプライバシーに関する情報は守られ、個人が特定される事はありません。

8. 本研究への参加を拒否する場合

本研究への参加を拒否される場合は、研究対象から場外いたします。下記 10. 連絡先までご連絡ください。

9. 研究機関、研究責任者および研究者

研究機関：姫路赤十字病院

研究責任者：内科 高田 斎文

10. 連絡先

〒670-8540 兵庫県姫路市下手野 1-12-1

姫路赤十字病院消化器内科 責任医師名 高谷昌宏 高田斎文

TEL 079-294-2251 FAX 079-296-4050